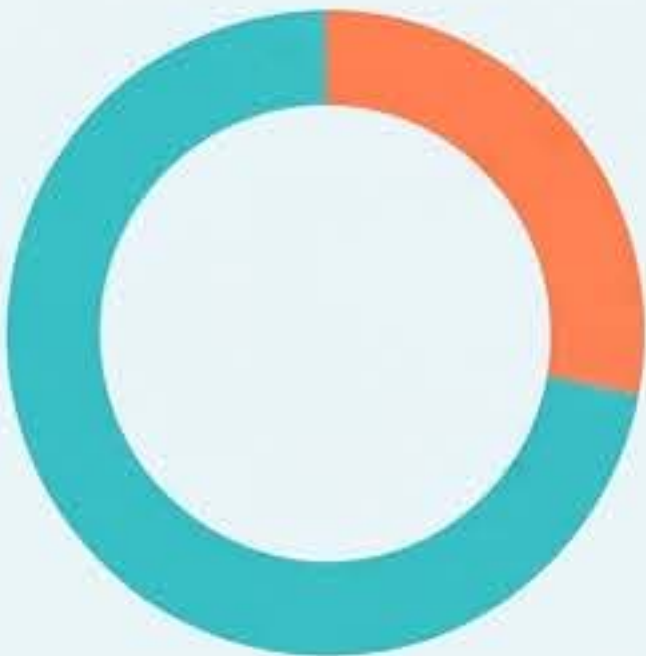
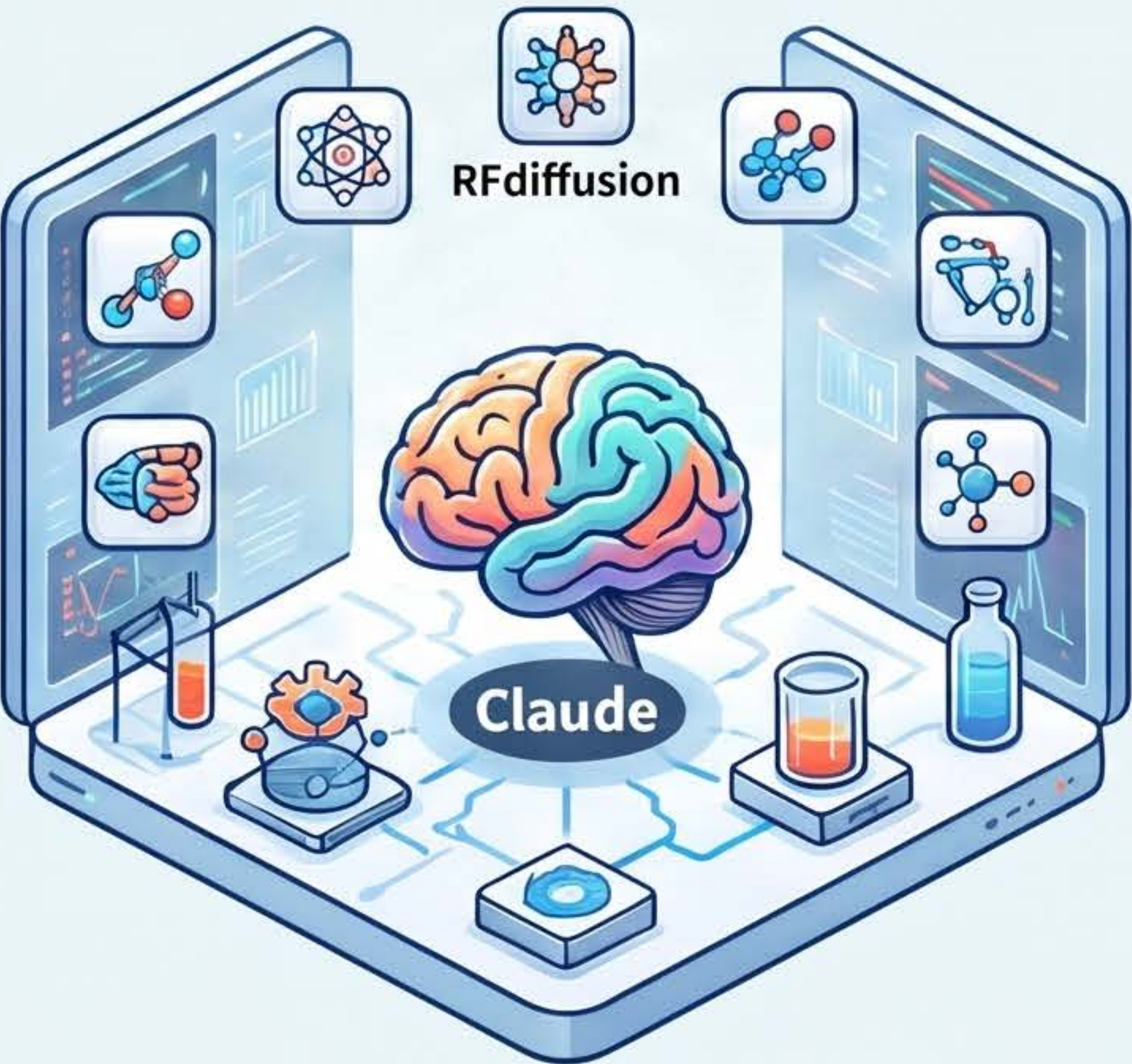


# AIによるタンパク質設計の革新と知財実務への衝撃：Anthropicの検証報告

## 技術的成果：AIによる自律的オーケストレーション



**15標的中14標的で  
結合体の設計に成功**

全体のヒット率は26.8%に達し、  
Claudeが1位に順位付けした設計  
では49%が結合に成功しました。

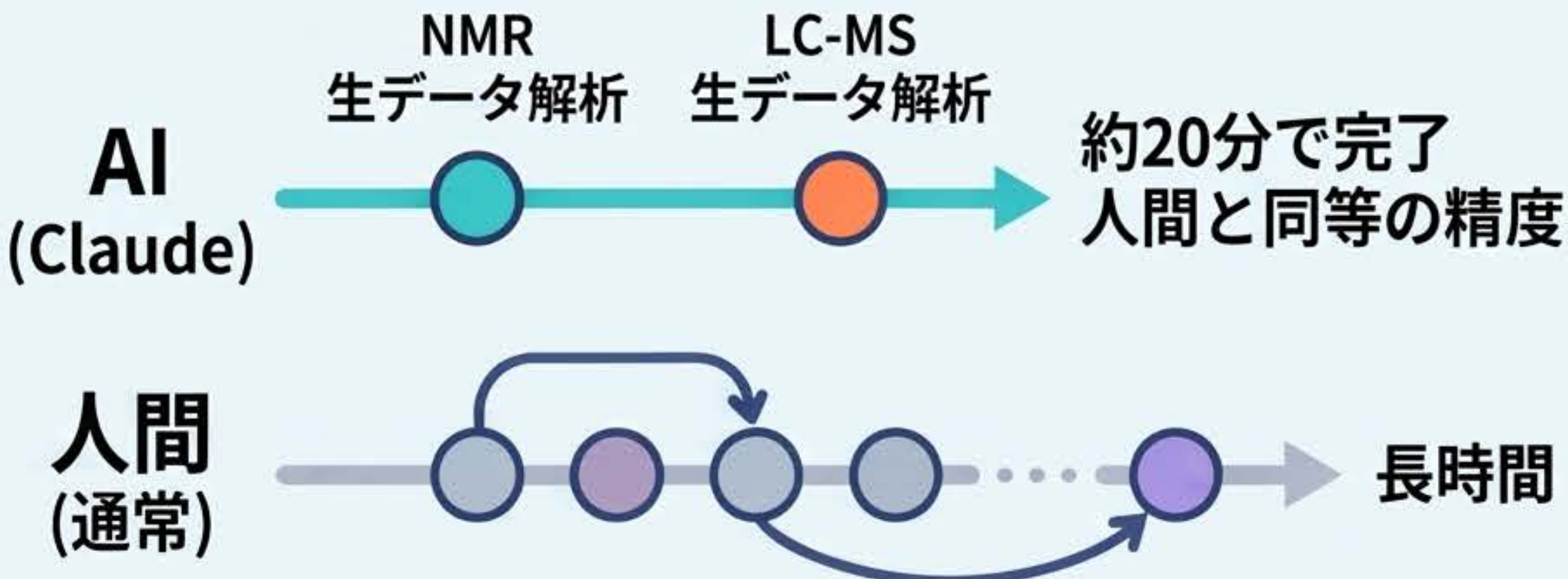


**既存モデルの自律的な  
ツール連携**

新規モデル開発ではなく、RFdiffusion等  
の既存ツールをClaudeが自律的に選択・  
実行した点が革新的です。



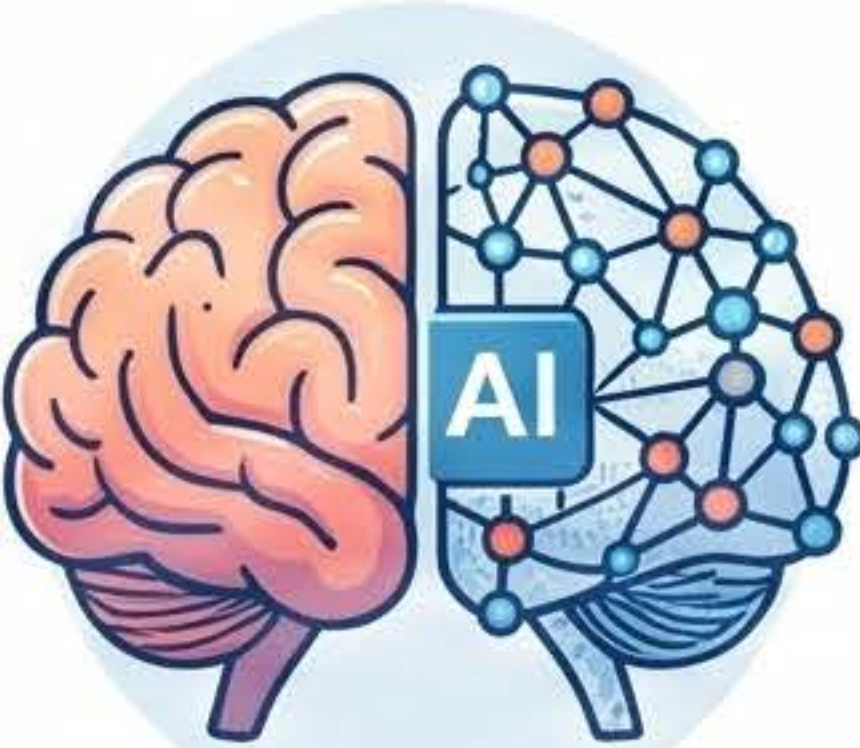
## 分析化学ワークフローの劇的な短縮



分析化学におけるClaudeと人間の  
解析結果の極めて高い一致度を示す。

| Claudeによる報告値                         | 専門機関(CRO)による報告値 |
|--------------------------------------|-----------------|
| NMR<br>水素数誤差: 0.08 <sup>1</sup> H 以内 | (基準値)           |
| LC-MS<br>主成分面積比: 98.8%<br>(再計算値)     | 96.33%          |

## 知財実務への3大インパクト



**発明者適格性の判  
断がより複雑に**

AI自体の発明者性は否定  
されていますが、人間側の  
「具体的な着想」への番号を  
クレームごとに検討する必  
要があります。



**1,440件の配列公開による  
「防衛的公開」の加速**

膨大なAI生成配列の公開は、  
競合他社の権利化を阻む  
先行技術として機能し、  
自社の出願余地も狭めます。



**実施可能要件を満た  
すための新たな証拠**

AI設計手法とウェットラボ  
の検証データを組み合わせ  
ることで、広範な機能的  
クレームの裏付け価値が  
高まります。

